

平成24年度播磨町の教育

播磨町立中学校、小学校、幼稚園の本年度の教育方針を、お知らせします。

▶問合せ 播磨町教育委員会 学校教育グループ教育推進チーム ☎079(435)0545

播磨小学校

ここに笑顔
はきはき返事
どどんやろう
はりまっこ



▲石井勝彦 校長

合言葉

「笑顔・やる気・元気」

自慢できる学校

子ども 通うことが楽しい学校

保護者 安心して通わせたい学校

職員 働きがいのある学校

やる気のある子ども

学び 意欲を持ってしっかり学習する子
心 素直で思いやりがありねばり強い子
体 すすんで食べていきいき運動する子

素敵な職員

明るくさわやかな職員

頼れる校長

信頼し、任すことが
できる校長

強い思い

- 子ども一人一人を大切にします
- 基礎・基本を身につけさせます
- 丈夫な体をつくります
- 皆さん、学校へどうぞ！「オープン播磨小」です。本年度、創立140周年です。共に祝ってください



▲元気！6年生～校歌を歌う～

播磨南小学校



▲若松育雄 校長

自ら考え、判断し、実践する子の育成

本校では、本年度を迎えるにあたり、本校教育目標に立脚し、次のような教育指針をもとに、教育活動に取り組むことといたしました。

21世紀を生きる子どもたちが未来を切り拓くための基礎となる言語能力を身につけさせ、発展的に思考力・判断力・表現力を培い、主体的・創造的に課題に立ち向かい、よりよく判断し、実践できる心豊かな子を育成する。

この教育指針のもと、私たちが子どもたちに身につけたいのは、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの力に支えられた「生きる力」です。

コミュニケーション能力に支えられた「生きる力」を

この3つの力はそれぞれに大切なものですが、それぞれを結びつけ、未来を生きる子どもたちのためにさ

蓮池小学校

挑戦・変革・追究
— Hasuike Style
の確立 —



▲林裕秀 校長

「未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成」

子どもが自らの力で自己実現を図ることができるように、豊かな心と確かな学力、そしてそれらを支えるたくましさをも身につけさせていきたいと思っております。そのために、学校が組織としての力を発揮できる学校力の強化に取り組んでいます。



本年度の主な取り組み

・Hasuike Styleの追究

給食指導や清掃指導、板書の仕方、ノートの取り方、表現の意義や内容など学級や学年、教科の枠を越えて、指導の統一と指導の一貫性を図ります。

・兵庫型教科担任制の実施

中学校への円滑な接続、学力向上、複数の教師の目による児童の多面的理解などをねらいとして、5・6年生に兵庫型教科担任制を取り入れます。また他学年においてもその趣旨に沿った取り組みをします。

・ことばの力の育成

昨年に引き続き「説明する理数教育」をテーマに、確かな学びにつながる授業を構築し、授業公開を行います。

その他、健康教育、道徳教育、環境教育、キャリア教育に計画的に取り組み、知・徳・体、調和のとれた児童の育成をめざして実効力のある挑戦を続けます。ご支援ご協力をお願いします。

<http://www.hasuike.harimakyoku.jp>

らに必要なものとして、コミュニケーション能力の育成が必要だと考えます。人は、人との結びつきの中で生きていかなければなりません。こうした意味で、コミュニケーション能力の育成は本校の重点的な課題です。

「ことば」のさらなる学習を

本校では、上記のような願いも持ちながら、ことばの学習を数年来行ってきました。ことばの学習は各教科の基盤であると共に、自分の願いや思いを伝え、語り、聞き、ことばの主体的な使い手として子どもたちを育てることです。

本校では以上のような考え方に立ち、家庭・地域の皆さまと共に本年度の教育を推進していきたいと存じます。



播磨南中学校 入学式

播磨南中学校

はばたけ南っ子
本気で何事も
優しさを友達に



▲福壽実 校長

本年度の努力目標

「個が活きる学級づくり」「係り活動と責任」「秩序ある学校づくり」

重点課題

学習指導

- 指導と評価の一体化
- 個に応じた進路指導
- 評価方法の工夫
- 説明責任を果たす

道徳・学活

- 生き方、社会性、道徳実践力の育成
- 学級会、委員会、生徒会の充実と活性化を図る

不登校対策

- 家庭・SC・SAとの連携
- 不応適生徒への支援
- ほっとルームの活用

学校教育啓発

- 通信、たよりの発行
- 開かれた学校づくりの推進
- P.T.A.会員相互の研修と交流会の実施

特別支援教育の充実

- 生徒理解と学習指導の工夫
- スクールAとの連携と指導の充実
- コーディネーターとの連携とその推進
- 通級指導の充実

生徒指導の徹底

- 家庭、地域、関係機関との連携強化
- 校長との個別面談（3年生～）

学校づくり

- 防犯・防災教育の充実、不審者対応
- 心と体を育てる講演会

学校業務改善実践校としての取り組み

- ノー残業デー、ノー会議デー、ノー部活デー

ホームページ <http://www.harinanj.ed.jp/>



播磨中学校 生徒会

スローガン
「みんなで造ろう！
愛せる播中！」

播磨中学校

校訓
「明朗・自治・創造」



▲赤松幸子 校長

教育目標

人間尊重の精神を基盤に知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きる力を育成する。

努力目標

- 「基本的な学習・生活習慣の定着と育成」
- ①一人一人を大切にする授業づくり
- ②自分たちで支える学級づくり
- ③「あいさつ」からはじめる温かい人間関係づくり

重点課題

- 学習指導の充実（指導と評価の一体化）
- 道徳・学級活動の充実
- 不登校対策
- 学校教育啓発活動
- 特別支援教育の充実
- 心ふれあう生徒指導
- 安全・安心の学校づくり

経営方針

- 全職員が全生徒と深く関わり合う
- 自ら学ぶことに喜びを持つ教育活動を行う
- 生徒と共に、グローバルな視点に立った「生き方」を考える
- 「環境が人をつくり、人が環境をつくる」の姿勢で取り組む
- 家庭・地域との連携を密にする

※紙パック回収をして、宮城県石巻市立大川中学校に必要なものを送り続けています。地域の皆さまのご協力もいただきながら、年間を通じて活動しています。本年度も、一枚でも多く回収していこうと思いますので、ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。

詳細はホームページをご覧ください。

笑顔が輝き、共に育ち合う子どもたち 一安心して自分らしさを発揮し、人とかかわる力を身につける一



▲大辻京子 園長

本園の教育目標

「生きる力の基礎をはぐくむ」
一幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で一

本年度の取り組み

子どもたちには個々それぞれの発達の過程があります。今、その子どもにとって身につけるべき力は何なのかを見極め、支えていくことが大切であると考えます。安心して自分の思いを出したり、気持ちをコントロールしたりできるように、その中で相手の思いを受け入れたり、自分とは違う考えに気付いたりし、さらに異年齢児や地域の人など様々な人とかかわることで、これから生きていく上で必要なコミュニケーション力をはぐくんでいくよう取り組んでいきたいと思ひます。

努力目標

- ・一人ひとりが安心して生活できるよう、あたたかい雰囲気づくりに努める
- ・個々の発達、3年間の発達を見通してきめ細やかな指導をする
- ・一人ひとりの思いを丁寧に受け止め、幼児の内面理解に努める
- ・友達や異年齢児、地域の人など、様々な人とのかかわりを大切にする
- ・全職員が全幼児にかかわり情報交換しながら共通理解していく
- ・家庭や地域との連携を深めたり、小学校との円滑な接続を図ったりする

http://www.town.harima.lg.jp



しなやかでたくましい心と体 一遊びを通して、互いのよさを感じながら育ちあう子ども達一



▲耕田いづみ 園長

幼児は、いろいろな遊びを通して、遊びの工夫・人とかかわる力などたくさんを学び、身につけていきます。

今年度は、幼児が自ら動き出し、その場の状況に応じていける「しなやかさ」と、最後までやり遂げる「たくましさ」の育成をめざし、家庭との連携をとりながら保育を進めていきます。

そして、生涯教育の基礎となる「生きる力」の育成に努めていきます。

教育目標

「生きる力」の基礎をはぐくむ
一幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で一

目指す幼児像

こころ豊かに学び、いきいきと遊ぶ子ども

努力目標

- ・幼児一人一人の発達や学びを踏まえ、保育内容の充実を図る
- ・体を動かすいろいろな遊びを通して、健康な体と心の育成・安全安心の教育の充実に努める
- ・幼児期の道徳性の芽生えを培い、支援する
- ・幼稚園教育から小学校教育への円滑な接続を図る
- ・保育園・子育て支援センターとの交流を深め、互いの保育理解と教育の充実に努める
- ・教師としての専門性を磨き、保護者や地域と連携しながら指導の充実に努める



育ち合う 豊かなこころ 元気なからだ 一子ども達に豊かな言葉をはぐくむために一



▲小西真由美 園長

本園では、幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で、身近な環境や様々な人とのかかわりを通して、一人ひとりが自分の力を十分に発揮しながら共に育ちあい、笑顔の溢れる幼稚園づくりに努めてまいりたいと思ひます。

本園の教育目標

生き生きとかがやいている子どもに

本年度の取り組み

幼児期は様々な人とのかかわりを通して、豊かな感性や考える力、表現する力など人とかかわる基礎が育まれます。

また、豊かな言葉は、人として生きるために大切な

ものであり生きる力の基盤をなすものだと考えます。そこで、幼児が言葉で自分の気持ちを伝える楽しさや心地よさが味わえる豊かな経験を積み重ねていけるような取り組みをしていきます。

努力目標

- ・子どもの発達や興味関心に応じて豊かな環境を整える
- ・心を揺さぶる直接体験を通して感性や表現力を育てる
- ・一人ひとりの思いを丁寧に受け止め、幼児の内面を大切に考える
- ・園生活の中で、幼児が自分の思いや考えを素直に表現できるようなかかわりをしていく
- ・家庭や地域との連携を深める



夢かがやき
ともに学びをきりひろく
心豊かな西っ子の育成
一真の「生きる力」をめざして一



▲木村詳司 校長

昨年3月の東日本大震災は、学校教育にもさまざまな課題を投げかけました。これからの東北の復興・日本の復興には、今の子どもたちも将来何らかの形で関わらざるを得ないであろうという時代になっています。そのためには、子どもたちに真の「生きる力」をはぐくむことが求められます。

そこで、本校では、児童の実態や昨年度の成果と課題に基づきながら、実践目標及びめざす児童の姿を次のように設定しました。



実践目標

- 1 基礎・基本を大切にされた確かな学力（知）
- 2 命を大切に、友達や仲間を思いやれる豊かな心（徳）
- 3 困難にくじげないたくましい健康な体（体）

めざす 児童の姿

- ・困難にくじげない子
 - ・人の話が聞ける子
 - ・考えて行動できる子
- 昨年度から引き続き、言語活動の充実と豊かな心を育てる道徳教育を研究のテーマに掲げ、教育活動を推進してまいります。
- 保護者の皆さま、地域の皆さまの深いご理解と温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

きゃんぱすだより

サクラの木の下でお弁当食べたよ

蓮池幼稚園 年長児

春まっさかりのある日、進級したばかりの年長児は園庭のサクラの木の下でお弁当を食べました。



満開のサクラの花びらがとってもきれい！「お花見だ！」「ピンクのじゅうたんみたい」と喜んでお家の人がつくってくれたお弁当をおいしくいただきました。

風で花びらが落ちると、「花びらがこっちにやって来た！」と花びらの様子を見たり、「お弁当箱に入ったから、もって帰って見せよう」と家に持ち帰ったり・・・。

お弁当の後も花びら集めをして遊び、今の時期ならではの自然にふれて楽しみました。

第28代生徒会執行部発足!!

播磨南高等学校 生徒会長 木戸口 春美

播磨南高等学校第28代生徒会執行部を発足しました。今回の生徒会メンバーは、男子5人、女子10人という割合で、個性豊かなメンバーでこれから頑張っていきます。この28代生徒会全員での初仕事は、4月11日の5限目と6限目にありました。新1年生への部活動紹介です。上手く進行できるか不安もありましたが、時間を重ねるごとに自信もついてきて、結果的には予定通りスムーズに終えることができました。しかし、もちろん初仕事だったので、焦ったり、迷ったり、戸惑うことも多々ありました。それ

ワクワクドキドキ入学式

播磨小学校1年生



4月11日は、待ちに待った入学式でした。朝から雨模様でしたが、それを吹き飛ばすくらい、新一年生の笑顔は素敵でした。

受け付けが終わって教室にすわった子どもたちの顔は少し緊張気味。けれども、机の上ののっている教科書の袋やねん土などを興味津々で見えています。

いよいよ入学式が始まり、仲良く手をつないで入場しました。「背中をピンと伸ばした一年生」という言葉を聞く度に背中を伸ばす一年生。そして、いろいろな方からのお祝いの言葉をきちんと最後まで聞くことができました。

写真を撮った後、教室へ帰って来ると、「あ、これ、クッキー」というつぶやき。校長先生のお話の中に出てきた給食室からのクッキーです。自分の名前を呼ばれた時には元気に返事をし、小学校での初めての一日が終わりました。

でも、進んでやってみよう、頑張ってみようと思ひたのは、周りにいたメンバーのお陰です。

これから文化祭、体育祭、播磨南高等学校で積極的にこなっているボランティアなど、メンバーと力を合わせて楽しく元気にやっつけていこうと思ひます。そして、播磨南高等学校が笑顔で溢れるように、生徒会メンバー一同全力で頑張りますので、これからよろしくお願いします!!

